

受 験 の し お り

受験当日までに本しおりを熟読し、不明な点があれば事務局までお問い合わせください。
 受験者の皆さんには健康に留意され、試験当日は日頃の力を遺憾なく発揮してください。

1. 試験会場

- ・ 学科試験（北部）会場 福知山市総合福祉会館 22・23号室（2階）
 （〒620-0035 京都府福知山市内記10-18）
- ・ 学科試験（南部）会場 京都市聴覚言語障害センター 研修室1・2（2階）
- ・ 実技試験会場 京都市聴覚言語障害センター 研修室1・2及び聴言室（2階）
 （〒604-8437 京都市中京区西ノ京東中合町2番地）

2. 試験当日のスケジュール

	12月19日（土）			12月20日（日）	
	午前 学科試験 【北部会場】	午前 学科試験 【南部会場】	午後 実技試験 （パソコン）	午前 実技試験 （手書き）	午後 実技試験 （手書き）
①試験会場 入室開始	08：30	08：30	12：00	08：30	11：00
②説明開始	09：30	09：30	12：30	09：00	11：30
③試験開始	10：00	10：00	13：00	09：30	12：00
④試験終了	11：30	11：30	※終了次第、 順次解散	※11：30解散 予定	※終了次第、 順次解散

※12/19午後・12/20午後の受験者は試験終了次第、順次解散ですが、終了は夕刻までおよぶ場合があります。

<注意>

- ①の「試験会場入室開始」時刻になりましたら、試験会場へ入室できます。
 ※「試験会場入室開始」時刻までは、会館（建物）に入らないでください。
 ②の「説明開始」時刻までに、試験会場への入室を完了してください。
 ※南部会場での学科・実技受験者は、東側外階段を利用して2階へ上がってください。
 ③の「説明開始」時刻までに、試験会場への入室を完了してください。

- ※公共交通機関が遅延した場合も、説明開始後の試験会場への入室は認められません。
 ※指定時間外の待機場所・試験会場への立ち入りや無用な場所への立ち入りはご遠慮ください。
 ※会場の駐車場は利用できません。公共交通機関を使用してください。

3. 持ち物

- 【共通】 ・受験票 ・受験のしおり
- 【学科試験】 ・HB～Bの鉛筆またはシャープペンシル ・消しゴム
- 【手書き実技】 ・油性中字ペン ・手袋 ・練習用ロール及びロール入れ
※本番用ロール及びロール入れ、はさみは持参不要です。
※ペン、手袋には名前を書かないでください。
- 【パソコン実技】 ・入力用パソコン（下記4点の条件を満たしていること）
1. IPtalk がインストールされている
2. 前日にウイルスチェックを済ませている
3. LAN 接続が可能な IP アドレスを設定している
4. 映像出力端子（VGA、HDMI など）の確認ができています
・LAN アダプター（※必要がある人のみ）

<注意>

試験会場では、試験終了後会場を出るまで携帯電話の使用はできません。

電源を切り、指定の封筒に入れた上で、カバンに入れていただきます。

試験会場（建物）を出るまで封筒から出さず、電源は入れないでください。

緊急連絡等がある場合、下記連絡先を伝えていただき、連絡を取ることは可能です。

電話 075-841-8336 京都府・京都市要約筆記者認定試験 事務局（京都市聴覚言語障害センター内）

4. 学科試験について

【試験中、机の上に置けるもの】

- ①受験票
- ②HB～Bの鉛筆またはシャープペンシル
- ③消しゴム
- ④腕時計（アラームの鳴らないもの、計算機・通話・通信機能のついていないもの）

5. 実技試験について

(1) 試験方法

試験問題の音源（約10分）を聞いて、一人で筆記または入力をします。（試験問題は1問です）
筆記または入力された内容をスクリーンに投影し、ビデオカメラで撮影します。

受験番号順に、2名同時に実施します。

【手書き】

OHCは設置されています。補助（サブ・引き手）はいません。

自分でロールを（向こう側へ）送りながら書きます。

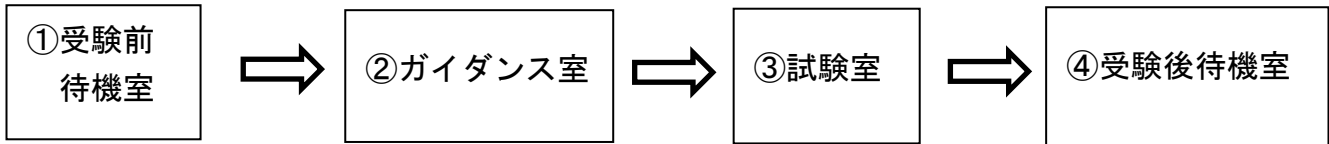
【パソコン】

自身の入力用パソコンを、HUBを通して表示用パソコンとLAN接続します。

(2) 当日の流れ

以下のとおり部屋を移動します。移動の際は係員の指示に従ってください。

元の部屋には戻りませんので、荷物をすべて持って移動してください。



※20日午前の受験者のみ、④の受験後待機室に移動します。

①受験前待機室

指定された席で待機します。受験の順番により待機時間が異なります。

待機中、参考書等の閲覧に制限はありません。

【手書き】

持参したロールや紙に筆記練習をすることができます。

【パソコン】

パソコンで入力練習をすることができます。

電源に限りがあるため、練習時の延長コードは各自で持参してください。

※パソコンでインターネットやメールなどを利用することはできません。

②ガイダンス室

受験票による本人確認の上、受験番号順に2名ずつガイダンスを実施します。

試験問題のテーマを伝え、試験室での手順について資料を配付して説明します。

【手書き】ペンや手袋を準備します。

【パソコン】パソコンの起動等の準備をし、起動したまま試験室へ移動します。

③試験室

指定された席に着き、ガイダンス室で配付した資料に沿って準備をします。

【手書き】

頭がOHCカメラに映り込まないように注意してください。OHCに頭が入り込み撮影に支障をきたす場合は、係員が肩に触れて合図をしますので姿勢を正してください。

【パソコン】

持参したパソコンに予測不能な機器トラブルが生じた場合を除き、試験時間延長等の措置は講じません。

また、ログは保存しない設定とし、保存した場合は不正とみなします。

入力画面設定は自由ですが、8人モニター・連絡窓・前ロールの各ウィンドウは不要です。

<注意>

他の受験者の映像を故意に見た場合や、「手を止めてください」という指示に従わない場合は不正とみなし、受験を無効とする場合があります。

受験後に確認された場合も同様ですので、ご注意ください。

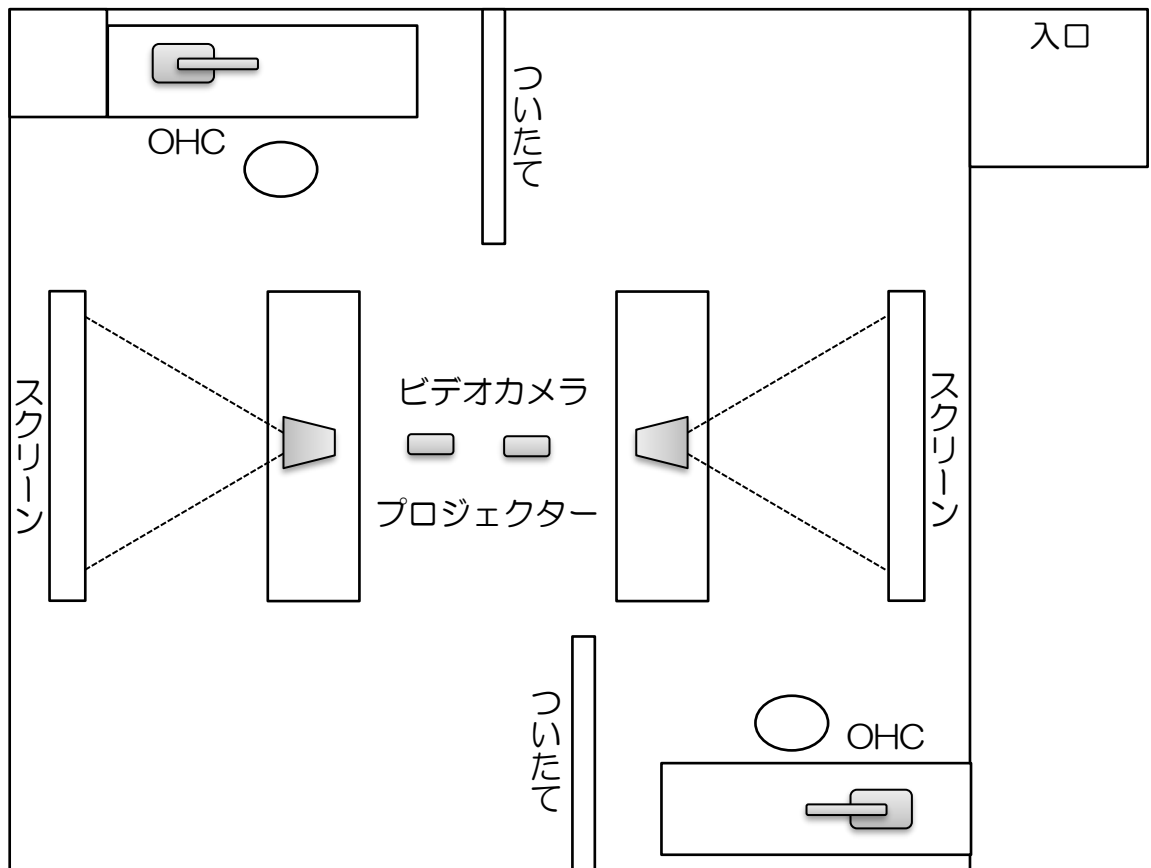
④受験後待機室

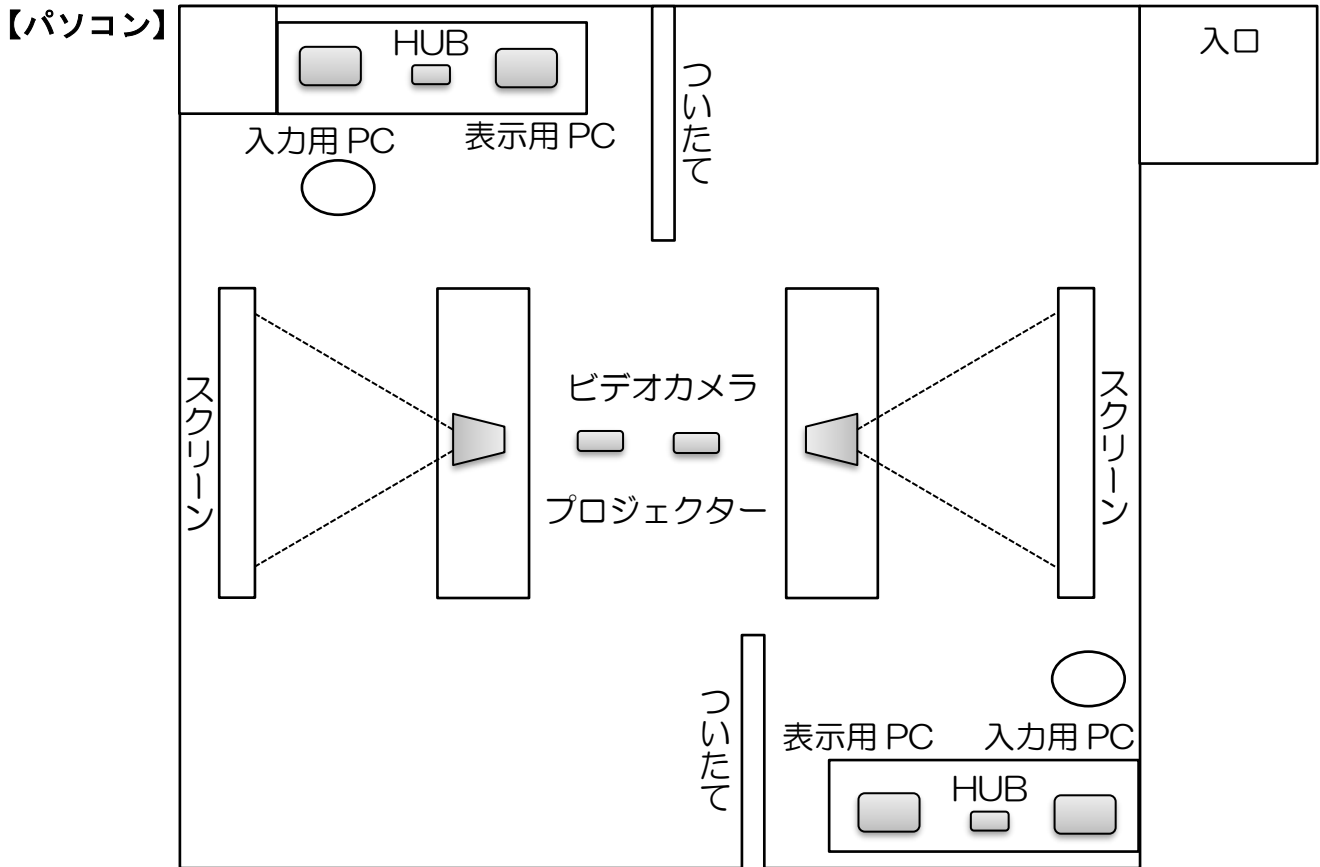
20日午前の受験者は、係員の指示に従い、私語をせず移動してください。

(3) 試験室の様子

※下図はおおよそのイメージです。実際とは多少異なる場合があります。

【手書き】





6. その他注意事項

- ・ 19 日の実技受験者は館内の指定された場所で昼食をとることができます。
20 日の受験者は館内で昼食をとることはできません。
- ・ 会場の室温が調整できない場合があります。調節のできる服装で来場してください。
- ・ 会場によっては、スリッパに履き替えが必要になります。(スリッパはこちらで用意します)
履き替えやすい靴でお越しください。

7. 試験結果の通知

2021 年 3 月中旬（予定）、受験者に郵送にて通知します。

8. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

受験にあたり、下記の注意事項をよく読み、十分留意してください。

- ・ 必ずマスクを着用し、発熱・咳等の症状や体調不良が見られる方、濃厚接触者の可能性がある方は、受験をご遠慮ください。
- ・ 体調に異変を感じた場合は、試験中であっても、早急に報告し退出してください。
- ・ 試験会場へ入る際には必ず検温と手指のアルコール消毒をお願いします。
- ・ トイレ使用後は手指のアルコール消毒をしてください。
- ・ 試験室や待機室では頻繁に換気を行うため、各自で防寒対策をしてください。

- ・ 大声を出さず、できる限り会話を控えてください。
- ・ 南部会場2階のロビーやトイレは使用できません。（※待機中に係員が誘導した場合を除く）

【問い合わせ先】

京都府・京都市要約筆記者認定試験 事務局 電話 075-841-8337（平日9～17時）
（社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会 法人事業本部 地域福祉統括事業部
意思疎通支援部 養成事業課）

※試験当日、不測の事態が生じた場合は、速やかに問い合わせ先にご連絡ください。

※天候不良等により、事務局から緊急のご連絡をする場合があります。

075-841-8337(社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会)の番号登録をお願いします。